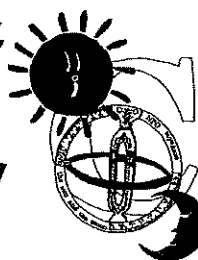


KSKQそよかぜ通信



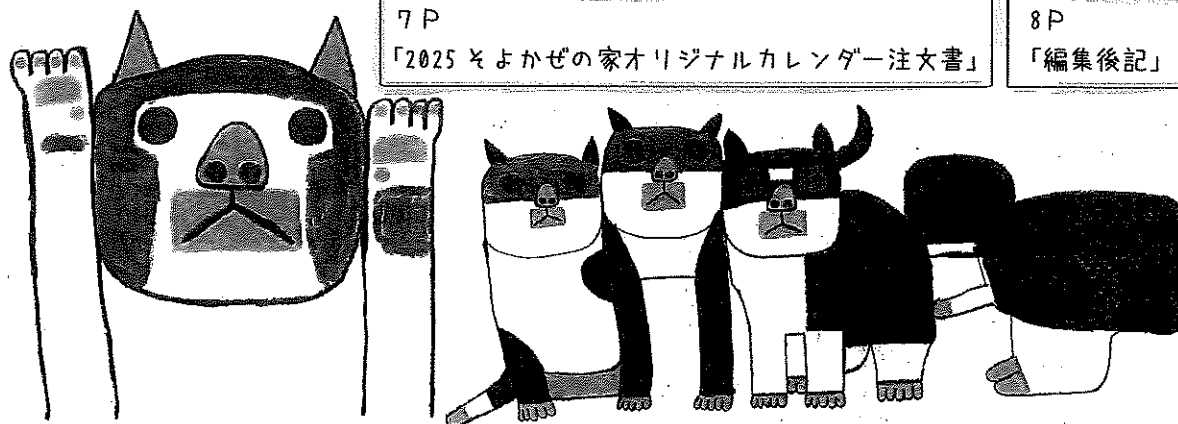
E-mail: minoh-soyokaze@song.ocn.ne.jp

N O . 201



目次

2 P 「計画」	2 P ~ 4 P 「安心って?」	4 P 「おいてかないで」	4 P 「年末のご挨拶」	4 P ~ 5 P 「秋の夜長に」	6 P 「WL フードロス」
7 P 「2025 そよかぜの家オリジナルカレンダー注文書」					8 P 「編集後記」



計画

今年も残すところあと、ひと月にまりました。みなさん、お変わりありませんでしたか？新年が来る前に、今年やり残したことはありませんか？

新しい年になる前にできることや、今年は無理だったけれど、来年は計画を立ててやろうとか？いろんなことを考える12月ですね。

年間の計画は、私にとっては、すごく重要なことです。ですが、思うようには、なかなかいかないもので困ります。特に今年のような異常気象では、なおさらです。今年は、春が早く10月いっぱいまで真夏日が続き、11月になって、やっと涼しくなりました。

私は、趣味で盆栽をしています。夏の暑さで、水やりの時間なども、年々難しくなっています。色々な工夫をして枯らさないようにしています。が、今年も暑さで枯れてしまった木もたくさん出ました。かわいそうでも、もがっかりしました。

ここ数年は、私も、盆栽会の展示会に出品させて頂いています。春の展示会は、5月にあり、花物のものを入れて飾るのですが、ほとんど花が咲き終わってしまっていたり、また、

秋の展示会は、10月頃で紅葉する実物のものを入れて飾るのですが、紅葉の時期が年々遅くなり、展示できる樹種が変わり始めています。

また、盆栽で育てる樹種も暖かい地方のものが新たに増えてきて、基本的な盆栽の育て方は変わりませんが、育てる上での作業の時期が変わってきています。常に計画を変更しながら、盆栽の様子を観ながら育てていかなければならないので、なかなか大変です。

また、そよかぜの家でも、夏が暑すぎて、販売や委託のチラシ配りなど、いつもより、熱中症に注意をくばりながら行わなければなりませんでした。夏が長く、いつまでも暑い日が続くようになったせいなのか？また、年を取ったせいなのか？疲れがとりにくく感じるこの頃です。

年々、季節の変化に対して、考えて年間行事カレンダーなど、変更していくことも必要ですね、そよかぜの家の年間計画も季節の変化にあわせておこなっていかなければいけないと思っています。

今年は、夏がとてつもなく暑いとか、冬がどうだ。とかを予想したうえで、プライベートなことでも、そよかぜの家のことでも、年間計画を立てることは、とても難しいことですが、計画を立てて物事に当たらなければ、なにもかもがグシャグシャになって

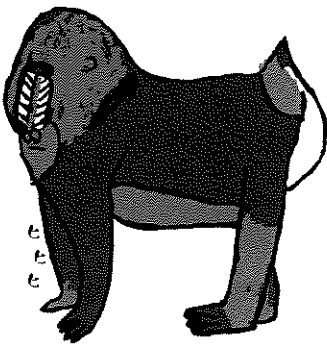
しまい、何が何だかわからなくなってしまう。結局、一年が終わるときに「何ができたんだろう？」なんてことになってしまいう可能性もありますよね。

大切にしたい物や事がらがいくつもある私です。その大切なものたちを、なるべくならすべて、はぐくみあげていきたいと思っています。

そんなこんなを思うとき、年間計画はどのシーンにおいても大事ななあ、とあらためて考えます。

最後になりましたが、この一年わたしたちの活動にご理解・ご協力くださいまして、本当にありがとうございます。これからも、がんばりますので、よろしくおねがいします。

そよかぜの家 山口 進



安心って？



秋です。というより・・・。今日は、11月9日。カレンダーはもう残り少なめ、1枚ないし2枚。早いもんだなあ。なんて、しみじみしています。世間では、「紅葉」のことが言われたしているようです。だけれど、山を見ても、きれいな色の景色は見えません。って、言うか、私は、能勢町の山(奥?)に住んでいます。色とりどりの葉っぱには、出会っていません。それどころか、暑い夏をやっと通り抜けて、秋がきた！嬉しい！と思ったのも束の間、凍えるような寒さの朝を、もう何日も過ごしています。ふと電車の中を見渡せば・・・。マフラーをまいた人たち、毛糸の帽子をかぶった人、それに、厚めの上着を着た人たちがいて、季節は、イッキに冬になっています。

今年は、もう、紅葉を楽しむことはできないような気がする・・・。なんて思っていると、世間では「紅葉」が騒がれ、出しているようです。少しでも、紅葉が楽しめる良いですね。

なんだか、年々季節がなくなってきたような気がします。今年はいつまでも暑い暑いと言っていたと思ったら、長そでを着るようになってから、肌寒い時期になってから台風が発生しています。なんかへんですよ。ちよつと。じゃない、だいぶん怖いです。

人間が、地球に対して無茶苦茶なことをやってきて、地球が悲鳴を上げているように思っています。、もう何年も前からのことですが、話は変わります。

何をどうしたら、安心できるのだろうか？？？って思うことありませんか？私は、しょっちゅう思います。そもそも、安心してなんだろう。インターネットで見たら「気にかか

ることがなく心が落ち着いていること。また、そのさま。」ということらしいです。頭のとっぺんから、足の爪の先まで不安でおおわれているように思うことがあります。なんだか、何がなか、解からないけれど、気がかりでしょうがなく、恐いような気持ちにとらわれることがあります。疲れているときが多いかな？急いで、あせっているときも。そんな時は決まりごとがどんどん増えてきちゃっています。決まり事をやらなくっちゃあ、気持ち悪いんです。ちゃんと決まったことを決まったとおりにやらないとよくないことが起

るような気になってしまっんです。決まり事をこなせば、安心できる！って思い、決まり事をこなしているのですが、ハンを押したように同じように決まり事をこなせるはずもない。決まり事をこなしている回数がどんどん増えていっちゃって、收拾がつかなくて、終わりがなくなつて、ぐずぐず泣いたりすることもあります。

私の周りにはいる障害を持った人の中にも決まり事をこなしている人が、何人かいます。フツーに決まり事をしているときにはそんなふうには感じないのですが、決まり事の回数や量？という種類？のようなことが増えて、なかなか前に進めないように見えるときがあります。そんな時は、その人なりの訳があるのでしょうが、私は、何かしんどいことがあるのか？とか、決まりごとがうまくできなくて、安心できないから何度何度もおんなじこと繰り返ししているのか？とか思っています。決まりごとにとらわれているときの自分がそうであるから・・・。

こうやってたら安心だ。こういうふうによつたらスムーズに前に進めるなとかを感じてやり始めた行動が、やがて決まりごとになり、それから抜けられなくなってしまう。そして、それがしんどいことになっちゃっても、やらないと気持ちが悪いという

か不安になつてしまうのです。安心を得るためにやり始めたことが、決まりごとになつてしまつて、そのことから抜け出せなくなつてしまつている。みんなが私とおんなじではないだろうけれど、矛盾したことになつてしまつているのが何だか切なくて悲しいような気持ちになつてしまっています。

私の場合、いそがしかったらとられることなくスムーズに行動ができるかって言えば、そうじゃないみたいです。焦れば、あせるほど、決まりごとが増えていっちゃって、決まりごとの渦巻きのなかで、ぐるぐるぐるぐる回つて。早くしなくっちゃあつて思っているのだけれど、何をしているのか！って感じます。

「しんどいよねえ。」ってホント、つくづく思うんです。そんなしんどさのループから抜けられる手段を私は知らないですが、でも仲間のみんなと、楽しいことやっているときは、そうはなつていないって思うのです。決まりごとにとらわれちゃうみんなと私。そうはならない人たちも、みんながみんなそれぞれが自分を解放できたなら、決まりごとにとらわれなくてもいいようになるんじゃないかな？

みんな、自分を解放する方法を色々やりながら探していきたい。私の場合は、そばに大好きな仲間

の誰かがいると決まりごとにとらわれず、決まりごとの渦巻きのなかでぐるぐる回ることなく行動ができているように思っています。

要は、安心できているかどうかなのか。あ。っていうことなんだと考えています。安心だけの人生（ちよつと、オーバーですかね。）。安心だけの毎日は、ちよつと、つまんないような気がします。なんか嫌になつて思うけど、しんどいことばかりが起きて、心配ばかりしている毎日もたまらないですよ。私がそうだと、言っているわけでは、ないので。：

なんかかんや、ごちゃまぜで、いろいろあるのがやっぱりいいんじゃないかな？

悲しいこと、つらいことは、ないほうがよいのだけれど、もし、つらいことがあつてへこんじゃったとしても、仲間がいたらそんなこんなも、踏みしめて進んでいけるように思います。

大切にしたいのは、信頼できる人たち。今までに出会つて仲間になつた人たち、これから出逢つていつて、仲間になれるかも知れない人たち。大事に、大事にしていって、みんなとみんな、一緒に、幸せを安心を増やして、広げていこうってそう思う。障害があつても、なくても、共に生き、働き、だれもが自分

らしく生きていける社会を目指して。
なりた社会を目指して仲間のみんなと一歩づつ進んでいきたいと、そう思っている今日この頃です。

2024 年 11 月 12 日 火曜日

そよかぜの家 三枝有紀

おいてかないで



ついこの前、桜井の駅のところを歩いていたらだい昔のことですが、そよかぜの「はあとや」が南小の傍にあったころの陶芸教室で出会った人と出会いました。その人はちよつと緊迫した表情でおでこが真っ赤でした。「私の事は覚えてるかな」と思いながら軽く手を挙げると、すつと近づいてきてくれて「春田さん〇でおでこ叩いてん」とすつと名前をよんでくれました。覚えてくれていたことはさすがに思いましたし、やつぱりめっちゃ嬉しかったです。

「ほんまう痛いな」とその場合は別れ、
「なんか嫌なことがあったんやろうな」痛々しかったな」と思いながら、用事を済ませてすぐあと、また別のところであつて「おでこ叩いたらあかん？あかんや」と言いに来てくれて「痛いもんや」と話、その別れ際の最後の表情がにこつと笑つていて、ただそれだけのことですが、(私の受け取り方の問題だけのことかもしれませんが)「あゝこの表情」と勝手にこつちが救われていました。日々過ぎていく中でもきつと笑顔を求めているんだろなうとあらためて思い、自分が救われているんだなど。

ありがとう
そよかぜでは、わたしは散々色々迷惑をかけながら過ぎていますが、そよかぜの皆さんは日々進化して先へと歩いていっているように思えます。支援が必要なのは私なのでしよう。

さて、いつも恒例となっているそよかぜの家の陶器市が 12 月 2 日、3 日とライフプラザであります。よかつたらのぞきにきてください。
戦争、被災、災害、孤独、しんどい思いを抱えている人達が、出来ればたくさん、心あたためられますように。

そよかぜの家 春田 薫

「年末のご挨拶」

早いもので、本年も残りわずかとなり、年末のご挨拶をさせて頂く時期となりました。

利用者様・ご家族の皆様・箕面市各関係機関の皆様には、いつも大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

本年は、パン販売業務・住宅清掃業務のほか、6 月からは箕面市環境クリーンセンター内でペットボトル選別業務が新事業をして加わりました。その業務もようやく、軌道に乗ることが出来ました。

各業務において、利用者様それぞれが、とても楽しそうに笑顔で取り組まれていることが、何より嬉しく、今後も『無事故・安全・笑顔』で継続・挑戦してまいります。

今年は、インフルエンザ・コロナに加え、マイコプラズマ肺炎も流行っていると言われます。又、例年になく寒暖差にも驚くばかりです。くれぐれもご自愛なさってください。

来年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。歳末のご挨拶とさせていただきます。

そよかぜの家 榎本 和彦

「秋の夜長に」



暑い日が続く中、金木犀の香りがほのかにだして「秋だなあ」と思っていたらいきなり冬の気候になるなど、秋を楽しむ期間が年々短くなってきているような気がします。

秋と言えば読書の秋などと言いますが、私は読書も映画も見ることが好きで、自分の気になることがあるとワードで検索して本を取り寄せたりダウンロードしたりして読みます。ポチッと指一つで、読みたいものがすぐみられる便利な世の中になりました。

映画ではサブスクで「受賞作品」と書かれているもの(私の子供曰く私はミラーらしい)を見まくったり、自分の好きな俳優や作品は映画館で見ます。授賞数で選んでいるので、映画の題名はほとんど覚えていないため、「これ前見たやん...」って途中で気づくことも...

福祉の仕事についてからは、福祉関係の本はたくさん増えました。本にはヒントや知識がたくさんあるの、にわか知識になりがちな私は、思い出しでは繰り返し読んだりして今の自分はどうだろうかなどと考えたり振り返ったりもします。

映画でもそうなんですが、考えるきっかけを与えてくれる作品はたくさんあります。

今回は「秋の夜長にどうでしょうか？」と、勝手に3作品を紹介したいと思います。

1 作品目は、「梅切らぬバカ」

障害福祉関係の仕事をしている人に「これおもしろいよ」と教えてもらった作品で、自閉症の息子と暮らす高齢の母。息子との生活は問題ないが、息子は自立の言葉を口にします。一緒に生活したい母だが、将来の事や息子の気持ちを尊重してグループホームに入居させることを決断する。そこで起きるグループホーム内やグループホームの近隣住民とのいざこざ。また、自宅横に引っ越してきたお隣さん家族との出来事など、それぞれの思いが描かれています。

母親やグループホーム側は、障害の特性など理解してもらおうと奮闘するが、なかなか難しい…。

不安や心配なのは自分の知らないこと、触れていないことがあるからだと

と思うんですよ。不安なことを知ろうとすれば安心（理解）できることもあるかもしれないし、少しだけでも近づくこともできるかもしれない。その点、子供は頭が凝り固まっていないので、心で受け止めているんだらうなと垣間見えるシーンもあります。

でもまあ、とにかく母の愛は深い。母親役は加賀まりこさん、息子役は塚地武雅さんが演じています。笑えて、ほろりして、ほっこりしてお互いを知ろうとすることの大切さを教えてくれます。

ちなみに：

「梅切らぬ馬鹿、梅切らぬ馬鹿」ということわざがあります。意味は：桜は枝を切った箇所から菌が入り腐ってしまふのに知らずに切る者を馬鹿、梅は大きく成長させる為に剪定が必須なのに切らない者を馬鹿として、常識知らずを非難する喩え。

また、その性質に合う適正な対応をすることが必要である喩え。

劇中にも「梅の木」がでてきます。なるほど、適正な対応です。

2 作品目は「こちろ あみこ」

小学高学年のあみこは純粋で風変わり。小学生の頃は、家族や友達に見守られ生きていく。しかし、あみこが成長していくにつれ、あみこの行動は周りの人たちを変えていくというス

トリー。

父親役が井浦新さん。私、井浦さん好きなんだけどねえ！おいおい井浦さんそれでいいの？（井浦さんは悪くないけど…）それじゃあダメなんじゃないの？あみこが悪いわけじゃないやん。え？！大人がしてあげられることあるやろ？！？など、ちらほらと私の中でつこみが出つつ…。

はあ…？。なんかすつきりしない。あみこの成長をどのように支えていったらいいのだろうかと考えさせられる作品です。

3 作品目は、「月」

相模原市の障害者施設で起きた事件をモデルとした映画。劇中では、障害者6人が障害者役を演じています。オフアー受けた施設の代表は「映画で振り返る対象にするのには、まだ早いのではないか」と出演を断ろうとしたそうですが、事業所で利用者とかがわるうえで大切にしていることと、「自己決定」と「外に出ること」があり、勝手に自分が決めるのはおかしいのではないかと、利用者に決めてもらったとのこと。出演を決めたのは事件に対して「怒り」があったからと話した障害者もいるそうです。

この映画の詳しい内容は省きますが、主人公が犯人の持つ思想や社会に對

する矛盾を常に自分に問いかけています。

その問いかけが、見ているこちら側にも投げかけてくるので、とても苦しい気持ちになります。

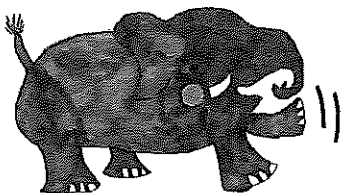
なので、「自分だったら？」「自分はどうかの？」と深く考えさせられる映画でもあります。主演は宮沢りえさん。

とにかくハードな内容の映画なので、観る方は心してかかってください。

以上3作品、自分の感想も勝手に入れている紹介となりましたが、映画って、見る人によって受け止め方が違ってくるのおもしろいんですよね。それでは、締めくくりに合わせ技でお別れを：

「映画ってホントにいいもんですね。それでは、さよなら、さよなら、さよなら。」

そよかぜの家 保田 かおり



こんにちは。ワークランドの小林です。

早いです！今年も終わりですよ！

今年は異常な暑さのせいで卵  と牛乳  の値段変動が多く、チーズ  も同様にパン屋にとって大打撃な一年でした。

それ以外にも米  や小麦  、野菜  など食料全てが高騰する一方です。

そのせいか、いつもよりずっと「フードロス」という言葉が刺さり、売れ残らない様に、材料を無駄にしないようにと一層気を使っています。

「もったいない」では済まされない、食に関わる仕事の問題になりつつあるな…と厳しい現実が日々押し寄せ、無い頭をひねってうんうんうなっています。

だけど！今年もやりますシュトーレンとアーモンドブロート、クリスマスクッキー！

物価高騰で年々値上がりして大変申し訳ございませんが、販売先で見かけましたらご協力のほどよろしくお願いいたします！

赤い羽根  募金のアソートクッキーも継続中ですので
そちらもよしなに！！

本年も大変皆様にお世話になりました。

来年はいい年でありますように願いつつ！

ワークランドスタッフ一同お礼申し上げます！！ (＊-)(＊-)



生活雑貨のお店 & ファッションのお店

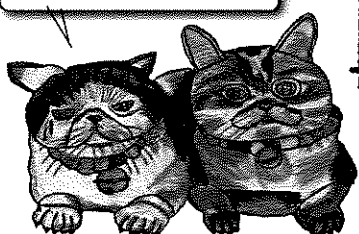
地域に密着
ちいさなお店に
雑貨がぎっしり。
安さにびっくり!!

リサイクルショップ
shopKAZE

絵本 小物 雑貨 玩具 着物 調理器具 陶器 文庫本 かばん 文房具 手芸用品 子供服 紳士服 アクセサリー 婦人服 レコード

リサイクル品 おゆづり下さい

みなさまの
ご寄附をお願いします。



衣類 日用雑貨
調理器具 時計

文庫本・単行本
「時代物があれば」

傘
「美品であれば」

無料で商品の回収を
行っています。
お気軽に
ご連絡ください。

※回収は箕面市・
一部の池田市・豊中市の地域
※一部引き取れないものも
ございます。

◎こんな商品お家にねむってませんか？

引き出物 靴・かばん
贈答品 キッチン雑貨

◎その他、
こんな商品も
集めています。

レコード
「歌謡曲があれば」

アレッポ石鹸や
珈琲・お茶・
お饅頭・クッキーも販売しております。

リサイクル事業は障害者の方の自立と就労を目的としており、みなさまからご寄附いただいたリサイクル用品は、リサイクルショップ「KAZE」で販売、また「そよかぜバザー」を定期的にライフプラザや西南生涯学習センター、メイプルホールなどで開催しております。
これらの売り上げは、そよかぜの家で働く障害者の工賃となっております。
みなさまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

「そよかぜの家」
リサイクルショップKAZE

そよかぜの家

「季節の遊結 カレンダー」

2025 年カレンダーご注文書

お名前
ご住所
〒
お電話

■ カレンダーご希望記入欄 ¥880/本
(※送料別途頂きます。
5 本以上送料無料)

2025 年そよかぜの家 オリジナルカレンダー
本

合計金額
円

※送料は別途頂きます

2025
そよかぜの家 ORIGINAL CALENDAR

季節の遊結
カレンダー



《1月・2月》お正月とガルの遊び
～夢がてんこ盛り…。焦らないで、大丈夫きつと、叶うよ。～あつぱくっけね。～
《3月・4月》お城と桜
～ぼっかばかの白差しの下でみんな。～ういおいでよ。～
《5月・6月》雨上がりのこいのぼり
～キラキラの雨が降り。思う存分、飛び跳ねて！～
《7月・8月》夏の日の海水浴
～あの夏に夢見たみたいに。～あなたの中にありますか～
《9月・10月》ねこたちの宴
～色んな生き物。遊び方もそれぞれ。みんな楽しい。～
《11月・12月》雪の結晶
～寒いけど、みんな一緒に遊んでいると暖かいね。～

特定非営利活動法人そよかぜ
そよかぜの家
〒562-0043 大阪府箕面市桜井 3 丁目 8-2 南山園江口ビル 103
TEL 072-722-6161 FAX 072-722-4876
<http://nposoyokaze.org/> mail minoh-soyokaze@song.ocn.ne.jp

部署名の動く
パンハウス・ワークランド
<http://panhouse-workland.org/>

お支払方法：商品と一緒に同包されている郵便振り込み用紙にご記入の上、お支払下さい。

ご注文は…

特定非営利活動法人そよかぜ 〒562-0043 大阪府箕面市桜井 3-8-2-103
そよかぜの家 URL: <http://nposoyokaze.org/>

上記注文書をファックス

072-722-4876



9:00～18:00の間でお電話ください。

072-722-6161



Email:

minoh-soyokaze@song.ocn.ne.jp



メールでご注文の際は件名(表題)を
件名(U) **オリジナルまたはカレンダー注文**
にて、お送りください。

編集後記に変えて

今年、最後の「そよかぜ通信」です。早いですねえ。色々なことが、日々繰り返され、一日一日は、とても長く感じているのに、過ぎ去ってしまえば、「え〜、もうこんな日にち？早いね。早すぎるわ！」っていうことになっています。

今日は、11月15日なので一ヶ月も、もう中旬。そよかぜの家のオリジナルカレンダーは、2か月で1枚なので、6枚で始まったカレンダーも、もう今の1枚で今年は終わりです。当たり前のことだけど、なんかしみじみしちゃいます。

♪暦は、もうすこ〜おしで、今年も終わりですね。♪って歌ありましたよね。何てこと、ふと考えてしまいました。

突然、話は変わりますが、今年の夏は、例年になく暑くて、植物も人間も、そして、その他の生き物たちもそうだと思いますが、暑いというだけでもう、へとへとになりました。そんな中でも、いわゆる雑草と呼ばれる「草」たちは、元気にぐんぐん伸びていました。…。

「雑草という名前の草はない。」と牧野さんは言ったとか？

昭和天皇もまた、牧野さんから植物学の教養を受けて？(いたからなのかは、定かではありません。)」雑草という名前の草はない。」と、そう言ったとかという話を聞いて感動したのを覚えています。

夏に伸びた草を刈る作業をしないと、伸び放題の草がそこら中にいっぱい、見通しも悪くなるし、環境の悪化にもつながるのかもしれないです。そして、咲き終わった花を摘んでいかないと、次の花が、きれいに咲かないと言います。でも…。でもね。「チコちゃんに叱られる」でもやっていましたが、「植物は痛みを感じないが似たような反応をする」らしいです。植物も生きているし、むやみに摘んだりしたら、命を奪うことになるし、痛みを感じたような反応をするなら、かわいそうだし、刈ったり、抜いたりなんてことは、なるべくしないですんだほうが良いなあって思ったんです。それまでに、草をぬいたり、なかなかできなかったりもしていましたが。

もちろん、私だって、野菜やお肉を食べています。なのにそんなこといってるのはおかしいよって言われればそうかも知れません。それは、そうなのですが…。

「命」ってということを考えると…。雑草って呼ばれている多くの草や小さな花たちは、そういうふうにな生まれようとして生まれたんじゃないですよ。たまたま、「バラ」や「パンジー」などの植物にならなかっただけで、抜かれたり、刈られたりするのには本当に理不尽なことなのではないのでしょうか？虫だって、そうです。なんだって、生きている、「命」あるものはすべてそうです。色んな事情が絡み合って、難しいことで、だったらどうするの？っていう答えは見出せません。

ただ、命は大切だってことを思うのです。それぞれの命をお互いに尊重しあいながら生きていくことができればってそう思います。

色んな命がさまざまに影響しあって、この地球で存在している。そういうことに、思いを馳せて、日々を過ごしていきたいって思います。難しく、わかんないことがいっぱい、頭を抱えてしまうことだらけです。難しく、わけわかんない！って思うことも、大切に思っていればいつかは、答えのようなものが見えてくるような気がしています。

こんがらがっちゃって、何が何だかって…？？？ととても情けない私ですが、これからも仲間たちと一緒に人権の尊重についてのことをやっていきたいと考えています。「命」の尊重についてのことで活動を続けていきたいです。

今年一年、いえ、これまで私たちの活動を応援してくださったみなさま、本当にありがとうございます。これからも、私は、私たちは、「あ〜でもない」「こ〜でもない」を繰り返しながら進んでいきたいと思います。これからも私たちの活動を応援してください。

2024年11月18日月曜日 そよかぜの家 三枝有紀

掲示板

今年も残りわずか…

たくさんの人たちに支えられて、
 いろんな場所で活動できました。
 そよかぜの家一同、感謝です!!

そよかぜ通信について、ご意見・ご希望・ご感想など
 ございましたら、お気軽にお知らせください。



minoh-soyokaze@song.ocn.ne.jp

